

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

令和 4年 2月 10日

放課後等デイサービスふりそりあ 保護者等数(児童数) 回収数 4 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4					
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4					
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	4					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	4					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				4		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				4		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4					
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4					
14 個人情報に十分注意しているか	4						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか				4		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				4		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	4					
	18 事業所の支援に満足しているか	4					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 10日

事業所名 放課後等デイサービスぶるめりあ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		相性が合わない利用者同士ややりたい作業などが違う場合は部屋を分けたり、パーティションを使用し支援している。	
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		年度はじめの目標設定や自己評価、また職員研修の際に自己を振り返り、客観的に物事を捉え、職員間で連携し支援が円滑に行われるよう徹底している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		今回が初めての評価表配布であったため、この結果をもとに今後取り組みを計画している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		来年度検討して積極的に取り組む予定である。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		毎月様々テーマを変え、虐待や権利擁護をはじめ、自己管理や人間関係などあらゆる研修を行っている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		児童発達管理責任者のみならず、職員や保護者の意見、学校の先生などの意見も事前に集約し、こまめに分析を行ったうえで次の会議に備えている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		利用者のやりたいことや、保護者の要望を考慮しつつ、苦手なことにもチャレンジしたり、できることが増える喜びを感じていただく支援を工夫している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		イベントなどを利用し工夫したり、限られた職員では備りも出でくるため、意見交換を積極的に行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		月の目標を自ら設定し、やってみたいことや頑張ってみたいことを事前にいつは何をしようかと話し合い実践している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		利用者の特徴に合わせ、得意を伸ばし、苦手なことに少しずつチャレンジできるような支援を計画している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		前日に次回の事を決めている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		なるべく具体的にだれが読んでも状況がわかる記録を心がけている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	<input type="radio"/>			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		学校からも連絡を頻繁に下さり、関係も構築出来ている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		<input type="radio"/>		来年度は連携できるように計画する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		地域の子どもが休日に遊びに来たりして交流することを計画している。	保護者の皆様にも計画が確定したら早期にお知らせしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		連絡帳の活用や特記事項はお迎え時に口頭でもお伝えし、報連相を行っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		<input type="radio"/>		保護者への支援は重要と捉えており、今後最も積極的に行っていきたい。まずは研修を行い、しっかりと計画的に
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>		感染症対策により控えていたが、来年度より早速計画予定である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		今のところ苦情はないが、今後もないように努める。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		法人のInstagramにて利用者の様子や活動内容をこまめに投稿したり、一日の活動の写真をLINEにてお送りしている。	
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		接触が苦手な利用者との距離感や周りの利用者への配慮を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		毎週火曜日にお茶会や相談会などを開催しており、見学のハードルを下げる工夫をしている。感染症対策のため事前予約制にしている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		<input type="radio"/>		各種マニュアルの策定、掲示などは行っているが、保護者への周知がなされておりましたので、担当者会議などを活用し、周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		<input type="radio"/>		まだ一度も避難訓練は行っていないが、来年度併設の介護付有料老人ホーム愛の計画に合わせて実施予定している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		<input type="radio"/>		保護者から連絡があったものに関し対応はしているが、お弁当を持参するので、直接医師との連携は取っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>			